■ 指定管理者制度導入施設　中間評価シート ■

1　基本情報

公の施設名	LCA国際小学校北の丘センター（相模原市立北市民健康文化センター）
指定管理者名	北市民健康文化センター運営共同企業体 （公益財団法人相模原市まち・みどり公社、株式会社フクシ・エンタープライズ）
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日
施設設置条例	相模原市立市民健康文化センター条例
施設の設置目的	市民の健康保持及び増進並びに文化及び福祉の向上に寄与するため （相模原市立市民健康文化センター条例第2条）
施設概要	所在地　緑区下九沢2071－1　・敷地面積　9076㎡　・建築面積4,454㎡　・延床面積9,069㎡ ・構造　鉄筋コンクリート造一部鉄骨（地下1階　地上3階） 1階　プール、展示コーナー 2階　障害者プール、娯楽室、談話室、多目的会議室、講習室 3階　浴室　大広間
施設所管課	市民局　市民協働推進課

2　管理実績

項目（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計（人）	236,404	82,526	136,805		
利用料金合計（円）	46,895,672	18,628,394	31,129,797		

3　成果指標の達成度

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点（20点満点）	評価点
評価（5評価）	C	B	D				5

指標1

指標名（単位）	プールの利用人数（人）
指標式と指標の説明	北市民健康文化センターでプールは中心的な施設であり、施設の設置目的である、市民の健康の保持及び増進が達成されるため、成果指標とする。

項目（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（人）	205,000	43,662 (207,000)	92,397 (209,000)		
実績値（人）	137,316	49,218	77,293		
達成度（％）	67.0%	112.7%	83.7%	#DIV/0!	#DIV/0!

指標２	
指標名（単位）	自主事業の参加人数（人）
指標式と指標の説明	北市民健康文化センターの諸施設を活用し、設置目的を達成させるため、自主事業参加人数を成果指標とする。

項目（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（人）	32,000	6,323 (32,000)	20,800 (32,000)		
実績値（人）	29,706	3,524	15,372		
達成度（%）	92.8%	55.7%	73.9%	#DIV/0!	#DIV/0!

4　事業の実施状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点（20点満点）	評価点
評価（5評価）	B	A	A				13

自主事業

主な事業名	内容等	効果等
「健康保持・増進」を推進する事業	プール教室や体操教室等の事業	R1年度:46事業　R2年度:13事業　R3:35事業
「文化の振興・福祉の充実」を推進する事業	陶芸教室や着付け教室、映画の上映会等の事業	R1年度:17事業　R2年度:2事業　R3:9事業
「地域のふれあい・魅力づくりへの貢献」を推進する事業	施設PR動画の作成や展示コーナーを活用した作品展示等の事業	R1年度:13事業　R2年度:1事業　R3:6事業

5　利用者の満足度

評価（5評価）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点（20点満点）	評価点
	A	A	A				15

利用者満足度調査

調査手法	利用者へのアンケート調査を実施
目標値の基準	利用者満足度の設問に対する「満足」と「やや満足」の合計の割合

項目（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（%）	90.0	90.0	90.0		
実績値（%）	90.3	87.1	90.9		
達成度（%）	100.3%	96.8%	101.0%	#DIV/0!	#DIV/0!

利用者意見の把握に資するその他の取組

主な取組事項	取組内容
意見箱の設置	館内ご意見箱を設置し、センターに関する意見を記入していただく。月ごとにまとめ回答を作成し、同場所に回答書を設置。
教室アンケートの実施	参加教室に関してのアンケートを実施。（文化教室のみ）教室終了時に回収。

利用者意見に対する対応

主な意見	対応内容
談話室の畳がボロボロで直して欲しい。	畳の上から新しいゴザを敷きなおし実施。
浴室外の竹柵が崩れていて外から見えてしまいそう。	竹柵を補修実施。
会議室の壁の傷が多い。	机が当たって傷ついてしまう部分の壁紙を張り替え実施。
脱水機の設置をお願いしたい。	男女更衣室への脱水機設置対応。
シャワーカーテンが汚れている。	カーテンの交換対応。
お風呂マットが小さいため変えて欲しい。	大きなマットに変更。
ウォシュレットを設置してほしい。	みんなのトイレにウォシュレットを設置。

6　施設の経営状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	評価点（20点満点）	評価点
評価（5評価）	A	S	S				18

施設の収支概要

（千円）

項目		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収入　（a）		225,682	228,422	231,896		
	指定管理料	176,625	173,685	166,936		
	利用料金収入	46,895	18,628	31,130		
	その他の収入	2,162	36,109	33,830		
支出　（b）		226,271	197,886	231,411		
	人件費	91,352	89,020	99,119		
	本社管理経費	5,474	5,831	5,677		
	その他の支出	129,445	103,035	126,615		
本体事業収支　【(a)-(b)】(c)		-589	30,536	485		
自主事業収入　(d)		12,463	3,403	10,146		
自主事業支出　(e)		8,212	3,616	7,936		
自主事業収支　【(d)-(e)】(f)		4,251	-213	2,210		
全体収支　【(c)+(f)】		3,662	30,323	2,695		
備考						

7　管理業務の履行状況

検査項目	確認結果				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
管理業務	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
危機管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
人員配置・地元活用	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
現金管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
会計・経理	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
情報セキュリティ	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
情報公開・個人情報保護	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	適正に実施	適正に実施		
加点の有無	無	無	有		
主な加点内容			指定管理者が負担する修繕において、予算額を超過した修繕を実施するなど、施設の適切な維持管理に努めている。		

8　提案事項のうち未実施のこと

主な事項	内容等	理由・今後の実施見込等
ねんどアート教室	カラー粘土等を使用して、季節に合わせた作品を作る教室。	陶芸教室へ変更し、事業実施。
白磁の絵皿作製	白磁の皿に自由にデザインを描き、焼成してオリジナルの絵皿を作製する教室。	白磁のデコアートに変更し、事業実施。
食育教室	食育を通して、一層の健康増進を図る事業	小学生昆虫探検隊に変更し、事業実施。

9　提案事項にないが実施したこと

主な事項	内容等	効果等
リズム体操	音楽に合わせて体操を行う。	新たな施設の魅力を発信できた。
社会人チームサポート事業	夜間プールや多目的室の有効活用を目的として、企業や団体などの社会人を対象に、アクアビクスや水中運動を実施し、利用の拡大･健康増進を図る。	2団体の参加実績を通して新たな利用者層の開拓に成功した。
北の丘設立20周年フェスタ	北の丘センター設立20周年を記念した事業を行い、施設全体の活性化につなげる。	6団体のステージプログラムやプールでの水中パフォーマンスショー、救急広報車でのAED体験等実施し、1,743名もの来場者実績で施設の活性化につながった。
介護とマネープランを考えよう	ファイナンシャルプランナーが指導する。	誰もが学ぶべき事項について事業実施することで新たな施設の魅力を産出した。
藍染教室	スカーフやTシャツを藍染でアレンジする。	内容、参加料設定などに対して満足度の高い教室となった。
初心者ゆかた着付け教室	初心者向けの浴衣着付け教室。	教室終了後にまた集まりたいといった声もあり、満足度の高い教室となった。
小学生将棋大会2020	日本将棋連盟相模原支部との共催事業。	市内小学生を対象とした大会を実施し、若年層に対する施設の新たな魅力創出に寄与した。
洋食器講座	洋食器の基礎知識を学ぶ。	様々な洋食器を見れたことに対しての満足度が高く、施設での学ぶ場の創出に寄与した。
はじめての着物の着付け教室	初心者向けの着物着付け教室。	中学生以上の女性を対象とし、着物を着るきっかけ作りを提供することで施設での学ぶ場の創出に寄与した。
初心者のためのウクレレ教室	ウクレレの弾き方を覚えたい方のための教室。	事業参加者で新たなサークルが発足するほどの人気事業となり、新たな施設利用者創出に寄与した。
初心者のための健康麻雀教室	飲まない･吸わない･賭けない健康麻雀教室。指先や頭の体操にも。	麻雀を活用して健康増進を図ることで通常運営時に来館されない利用者にも施設の魅力を発信できた。
親子スイミング教室	ベビースイミング（～2歳6カ月）からプール大好き！（3歳～）の間の年齢を対象にした水泳教室プール大好きの参加に繋げる。	通年を通した事業で、どの年齢でも参加できるよう対象を設定。通年で参加者数も安定しており、施設利用者数向上につながった。
健康ストレッチ	夜間に大広間で行うストレッチクラス。	施設において比較的利用者数の少ない夜間の時間を活用したことで供用時間中の有効活用につながった。
リラクゼーションヨガ	夜間に大広間で行うヨガクラス。	施設において比較的利用者数の少ない夜間の時間を活用したことで供用時間中の有効活用につながった。
健康ヨガ	夜間に大広間で行うヨガを取り入れた体操クラス。	施設において比較的利用者数の少ない夜間の時間を活用したことで供用時間中の有効活用につながった。

絵手紙教室	果物や野菜をモチーフに絵手紙を作成。	参加者で和気藹々とした雰囲気の中実施され、講師の作品鑑賞も同時に行ったことで満足度が高い事業となり、文化の振興に寄与した。
自転車マナーアップ啓発活動	近隣施設である北総合体育館及び北公園と合同で実施。駐輪場の付近に自転車マナーアップ啓発が表示されたのぼり旗を立てる。	春及び秋に実施される全国交通安全運動実施期間に実施し、下九沢地域のマナーアップに貢献した。
北の丘ハロウィンイベント	ロビーにフォトスポットを設置。ハロウィン当日、前日に来館したお子様にお菓子を配布。	小さなころの思い出となる要因を増やすことで、施設への愛着を持っていただくとともに施設の魅力づくりに貢献した。
北の丘クリスマスイベント	ロビーにフォトスポットを設置。クリスマス当日、前日に来館したお子様にお菓子を配布。	小さなころの思い出となる要因を増やすことで、施設への愛着を持っていただくとともに施設の魅力づくりに貢献した。
ボッチャ体験会	簡易的なルールにてボッチャ体験会を実施。パラリンピックの盛り上げや障がい者スポーツの普及に寄与する。	普段接することが少ないスポーツを紹介することで参加者の新たな発見のきっかけ作りを創出し、施設の魅力向上の一助となった。
センターPR動画作成事業	さがまちコンソーシアムとの連携事業であり、さがまち所属の学生が北の丘センターのPR動画を作成する。	共同事業で実施。 施設HPや施設内で放映することで、年間を通じて利用ができる施設ということをPRすることができた。

10　指定管理者の自己評価

当指定期間は、清掃工場蒸気停止に伴う休所日増加（令和元年度のみ）や令和２年３月以降の新型コロナウイルス感染症拡大予防に起因する閉所や各種利用制限を余儀なくされた点、また、開館から20年超経過した施設の劣化に起因する各所の不具合の発生など、通常運営を行うことが難しい状況であった。

成果指標に対する達成度についても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、現状まで目標値に対しての達成度が低い結果となってしまった。しかしながら、コロナ禍においても、前指定管理者期間から維持管理業務の体系を変更したことによる光熱水費の大幅な減少や、近隣公共施設（北総合体育館、北公園）との連携事業、さがまちコンソーシアムとの共同事業を実施することで指定管理者として出来得る限り施設の魅力向上に努めた。

また、通常定員の最大半数まで利用制限を掛けていた自主事業は、運営方法について、市と協議を重ね、小学生対象のプール教室の充実、陶芸教室やウクレレ教室の実施、そして実施事業の都度見直しによる新規事業展開を図った。

結果として事業参加者数がコロナ禍以前まで徐々に回復傾向にあり、文化教室参加者でサークルが発足されるなど、未曾有の事態の中、可能な限り魅力的で適切な施設運営が実施できたと考えている。

さらに、利用者満足度についても、利用制限が課せられる中、施設内の掲示物や職員の接遇等に注意を図った結果、高い評価をいただくことができた。

今後についても、変化する社会情勢の中、利用者の意見に耳を傾けるとともに、新たな施設の魅力発信による施設利用者数の増加、小破修繕の内製化、光熱水費等の管理経費の削減を図ることで、適切な施設運営に努めたい。

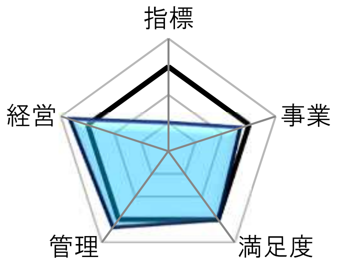
11　所管課意見

・緊急事態宣言による施設休所期間中には、通常時では容易に実施できない修繕等を行い、休所期間を活用した施設の維持管理がなされた点を評価する。
・令和3年度は繁忙期の8月から9月にかけて休所となり、プール利用者数の伸び率に大きく影響したが、令和2年度と比較して休日の利用者数が回復したほか、学生と協働した施設PR動画の制作や、閑散時間帯の有効活用のための自主事業を新規で開設するなど、利用者の増加に努めた点を評価する。
・コロナ禍においても高い満足度を確保し、利用者ニーズに沿った運営ができていた点については、施設における感染症対策が十分に講じられ、利用者が安心して利用できていたことによるものと考えられる。
・隣接する相模原北公園を活用した事業を新規に実施するなど、立地を生かした事業を行っている。引き続き近隣施設と連携した事業を期待したい。

12　選考委員会意見

・コロナ禍による利用制限や施設の老朽化が進む中でも、創意工夫を図り高い利用者満足度を得ている点は評価できる。今後も利用者の声に真摯に耳を傾けるとともに、利用者満足度調査の結果を分析した事業運営を期待する。
・施設ウェブサイトでの情報提供について、「お知らせ」だけでは時間の経過とともに情報を探すことが難しいことから、自主事業の内容や利用者（参加者）の声を紹介するページの作成を検討して欲しい。
・提案事項にはない数多くの実施講座やイベントは、市民の新たな健康ニーズ創出につながると期待できる。新たな事業活動の拡大や定着には時間がかかるため、個々の集客人数だけに固執せず、年単位のトレンドで考えて成果につなげて欲しい。
・この３年間で安定した経営状況を維持していた点を評価する。引き続き、積極的な利益還元を期待する。
・地域と連携した事業等の開催により、施設利用のさらなる促進に取り組んでいる点を評価する。今後も施設の機能や特性を活かしながら、地域の拠点として多くの利用者が集まる場づくりに努めて欲しい。

総合評価（自動判定）

B

(68/100)